



しあわせ信州

長野県(北信地域振興局)プレスリリース 令和6年(2024年)12月27日

「ゼロカーボンミーティング 2024 in 北信州 × 北信地域タウンミーティング 2024」を開催します

北信地域振興局では、(公財)長野県長寿社会開発センター北信支部とタイアップして、ゼロカーボン社会の実現に向けて地域の皆様と考えるイベントを開催します。

1 テーマ

暮らしの中のゼロカーボン ～未来に向けて 今 私達一人ひとりができること～

2 日時

令和7年 1月22日(水) 13時30分から 15時50分まで

3 会場

飯山市文化交流館なちゅら 大ホール (飯山市飯山 1370-1)

4 内容

(1) 基調講演

講師：**渋沢 寿一 氏**

NPO法人共存の森ネットワーク理事長。農学博士。

明治の実業家・渋沢栄一の曾孫にあたる。

演題：わたしたちの未来に向けて

渋沢栄一(江戸～戦前)・渋沢寿一(戦後～令和)

それぞれのゼロカーボン



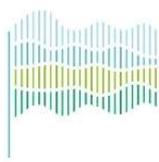
(2) 取組事例紹介

- ・パン工房〇(まる) 宮田 伸也 氏
- ・NPO法人すがかわ暮らし応援隊 外山 俊 氏
- ・長野県下高井農林高等学校 宇田 貴浩 さん、片桐 杏奈 教諭

(3) 旗上げアンケート方式ディスカッション

5 その他

申込方法等の詳細は、別添チラシをご覧ください。【申込〆切：1月15日(水)】



くらしの足元、ふと見つめ直す。
そこから始まる暮らしの
ゼロカーボンシフト「くらしふと」

くらしふと信州

WEBサイトはこちら



(問合せ先)

担当 北信地域振興局環境課 山岸
電話 0269-23-0202 (直通)
FAX 0269-23-0275
電子メール hokuchi-kankyo@pref.nagano.lg.jp

ゼロカーボン 北信地域 ミーティング × タウン 2024 2024 in 北信州 ミーティング

参加
無料

暮らしの中のゼロカーボン

～未来に向けて 今 私達一人ひとりができること～

2025
1/22 (水)

「ゼロカーボンとは何か、なぜ必要なのか」を一人ひとりが認識した上で、
「自分にもできること」を一緒に考えてみませんか。

会場 飯山市文化交流館なちゅら
大ホール



開演 13:30

基調講演 13:40～14:30

わたしたちの未来へ向けて

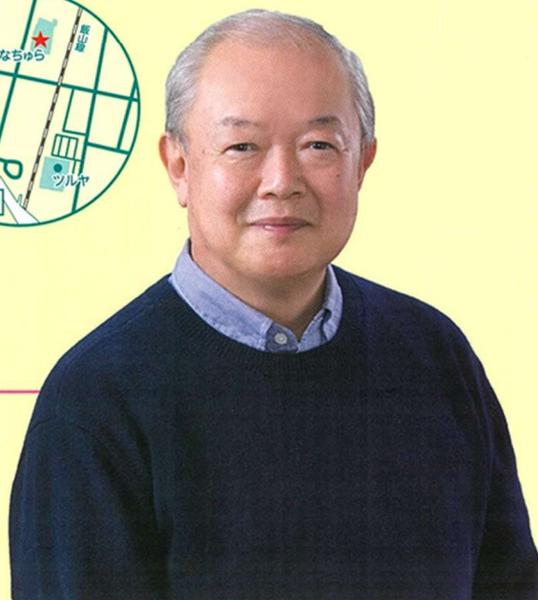
渋沢栄一・渋沢寿一

(江戸～戦前) (戦後～令和)

それぞれのゼロカーボン

渋沢 寿一 氏

NPO法人共存の森ネットワーク理事長。
農学博士。明治の実業家・渋沢栄一の曾孫にあたる。



取組事例紹介 14:40～15:10

ファシリテーター：フリージャーナリスト 内山 二郎氏 (長野県長寿社会開発センター前理事長)

1 パン工房〇(まる)
宮田 伸也氏
(木島平村)

2 NPO法人すかかわ
暮らし応援隊 外山 俊氏
(山ノ内町)

3 長野県下高井農林高等学校(木島平村)
宇田 貴浩君 (環境創造コース・3年)、
片桐 杏奈教諭

旗上げアンケート方式ディスカッション 15:10～15:40

長野県からのおしらせ 15:40～15:50

申込み切1月15日(水)

閉会 15:50

申込用URL
<https://forms.gle/z3NJMZvm1e76MGQd9>

申込フォーム
またはQRコード
からお申込み
ください。

QRコード(申込用)



お問い合わせ

長野県北信地域振興局環境課 長野県中野市大字壁田955 TEL0269-23-0202 Eメール hokuchi-kankyo@pref.nagano.lg.jp
(公財)長野県長寿社会開発センター北信支部 長野県飯山市大字静間1340-1 TEL0269-62-3725 Eメール hokushin@nicesenior.or.jp

主催：長野県北信地域振興局(環境課)、公益財団法人長野県長寿社会開発センター北信支部

共催：飯山市、豊かな環境づくり北信地域会議 協力団体：JAながの農業協同組合みゆき地区女性部

ゼロカーボンとは？

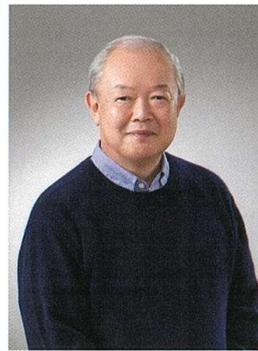
温室効果ガスの「排出量」ー森林などによる「吸収量」= ±0「ゼロカーボン」

ゼロカーボンとは、企業や家庭が排出する二酸化炭素をはじめとする温室効果ガスの「排出量」から、森林による「吸収量」などを差し引いて、排出量の合計を実質的にゼロにすることをいいます。ゼロカーボンの実現のためには、再生可能エネルギーの導入や省エネの推進などにより二酸化炭素の排出量を減らすことが必要です。 ※「カーボンニュートラル」「脱炭素」ともいう。

講師紹介

渋沢 寿一 氏 (しぶさわ じゅいち)

1952年生まれ。国際協力機構専門家としてパラグアイに赴任後、長崎オランダ村、ハウステンボスの企画、経営に携わる。NPO法人樹木・環境ネットワーク協会理事長を経て、現在は、NPO法人共存の森ネットワーク理事長。全国の高校生100人が「森や海・川の名人」をたずねる「聞き書き甲子園」の事業や、各地で開催する地域人材育成のための「なりわい塾」など、森林文化の教育・啓発を通して、人材の育成や地域づくりを手がける。岡山県真庭市では木質バイオマスを利用した地域内循環経済「里山資本主義」の推進に努める。明治の実業家・渋沢栄一の曾孫。農学博士。著書に「森と算盤」(大和書房)他



ファシリテーターの紹介

フリージャーナリスト

内山 二郎 氏

(長野県長寿社会開発センター前理事長)



1943年神奈川県生まれ、本籍長野市信更町。長野高校、慶応義塾大学卒業。学生時代にベトナム戦争下の現地に赴く。マグロ漁船乗り、港湾労働者、篤職、映画助監督、TVディレクターなどを経てフリーライターに。アジア、アフリカ、インド、東欧、オーストラリアなどで取材活動。1983年病気療養のため帰郷。長野を拠点に活動始める。地域づくり、海外支援、大学非常勤講師、市民活動、東日本大震災支援、障害者福祉、人権問題、テーマ劇の脚本・演出・プロデュース、長野県長寿社会開発センター・長野県シニア大学の運営などに携わる。

取組事例者の紹介

①パン工房〇(まる) 宮田 伸也氏 (木島平村)

令和6年(2024年)4月、自宅内にベーカリー「パン工房〇(まる)」を開店。店名の「〇(まる)」は「地球に優しい(〇)、体に優しい(〇)、食べものを捨てない(廃棄ゼロ=〇)、地域の良さを丸(〇)ごと生かす、循環型社会(循環=〇)に貢献」という思いが込められている。また、「何か環境に役立つ事をしたい」との思いのもと、自宅庭にソーラーシェアリング・タイプのシステムを設置するなど、太陽光発電を導入している。



②NPO法人すがかわ暮らし応援隊 外山 俊氏 (山ノ内町)

平成27年(2015年)2月設立、令和5年(2023年)7月NPO法人化。山ノ内町須賀川地区は豪雪地帯であり、過疎と高齢化が加速する中、高齢者世帯の生活支援や、まちづくり推進・移住支援(空き家の情報収集・提供)を行っている。また荒廃農地を利用した新たな地域農産物の研究と薪の生産販売、都会の子供たちの農業体験受け入れなども行っている。森林整備・自然エネルギーの活用事業では「私たちにもできるゼロカーボン生活」のイベントを開催し、地球温暖化について学ぶ機会を設けている。



③長野県下高井農林高等学校(木島平村) 環境創造コース 宇田貴浩君(3年) 片桐杏奈教諭

学校のSDGs宣言に基づいた持続可能な地球環境の実現に向けた取り組みの中に「自然環境に配慮したものづくり」がある。地域課題となっている「放置竹林」について「なぜ竹林が生まれたのか、また増えるとどうなるか」を授業で学び、学生が実際に放置竹林の整備、間伐を行っている。また、間伐材を素敵なものに形を変え、楽しいことに利用することが、結果として竹害を防ぐことになるのであれば、サステナブルな社会実現の有効な手段となりえるという事も発信している。

